

記入例（減額返還）

記入日：●●●●年 ●●月 ●●日

日本学生支援機構理事長 殿

奨学金減額返還短縮願を作成した年月日を記入。

どちらかに○をつける。
※減額返還・返還期限猶予ごとに用紙をわけて記入。

奨学金減額返還短縮願
奨学金返還期限猶予短縮願

現在、下記奨学金は減額返還もしくは返還期限猶予の承認期間中ですが、通常の割賦金額での返還再開をお願いします。

記

減額返還短縮希望の奨学生番号が複数ある場合、漏れがないように、すべての奨学生番号を記入。

○奨学生番号（短縮希望の奨学生番号をすべて記入）：

60404●●●●●, 80404●●●●●

○通常返還の開始希望年月

減額適用前の通常割賦金額での返還を再開したい年月を記入。
※希望月の前月末まで必着で提出。

●●●●年 ●●月 より返還開始希望

※ 減額返還については、2分の1で適用されている場合は2の倍数回、3分の1で適用されている場合は3の倍数回、4分の1で適用されている場合は4の倍数回、3分の2で適用されている場合は3の倍数回の返還が終了した翌月から変更となります。

フリガナ : キコウ ハナコ

○奨学生氏名： 機構 花子

生年月日：19●●年 2月 22日

○住所：〒 162-0000

東京都 新宿区 市谷 本村町 10-7

生年月日を記入。

○自宅電話番号：03-●●●●-●●●●

○携帯電話番号：090-●●●●-●●●●

○勤務先名： ●●株式会社

○勤務先電話番号：03-●●●●-●●●●

※ 通常返還開始希望年月の3か月前から前月末までに提出してください。

減額返還取り消し月が、2分の1で適用されている場合は2の倍数回、3分の1で適用されている場合は3の倍数回、4分の1で適用されている場合は4の倍数回、3分の2で適用されている場合は3の倍数回になるように調整して記入。

2分の1の場合

例) × 2023/10 減額返還開始 → 2024/ 4 終了 (7回)
○ 2023/10 減額返還開始 → 2024/ 5 終了 (8回)

3分の1の場合

例) × 2023/10 減額返還開始 → 2024/ 5 終了 (8回)
○ 2023/10 減額返還開始 → 2024/ 6 終了 (9回)

4分の1の場合

例) × 2023/10 減額返還開始 → 2024/ 4 終了 (7回)
○ 2023/10 減額返還開始 → 2024/ 5 終了 (8回)

3分の2の場合

例) × 2023/10 減額返還開始 → 2024/ 5 終了 (8回)
○ 2023/10 減額返還開始 → 2024/ 6 終了 (9回)